

学年	教科等	単元名	日時
第4学年	社会科	水～今・そしてこれから～	平成29年6月13日(火)5校時
本実践の主張	<p>本実践は、社会科学習において、資料提示や発問を工夫することにより、本校の研究主題である「各教科の特質に応じた学びの本質に迫る授業の創造」をめざすものである。</p> <p>本実践では、「川の水はどうして汚くなるのだろう。」と「川の水はどうやってきれいにするのだろう。」という2つの「問い」をもたせたいと考えた。そのための資料提示の工夫として、大きく「実際の水、写真資料、実物資料」の3つを提示した。子どもが、五感を用いたり、イメージを膨らませたりすることができるようにした。</p> <p>また、多角的に考察させるための発問の工夫として、上記の資料を提示する際に、子どもに「問い」が生まれるような発問を行った。その際、これまでの生活経験を基にして考えさせることで、各家庭によって「水」への意識に差があることや、「浄水」と「下水」という2つの観点から「水」を捉えることができるようにした。</p>		

「問い」が生まれてくる資料提示の工夫



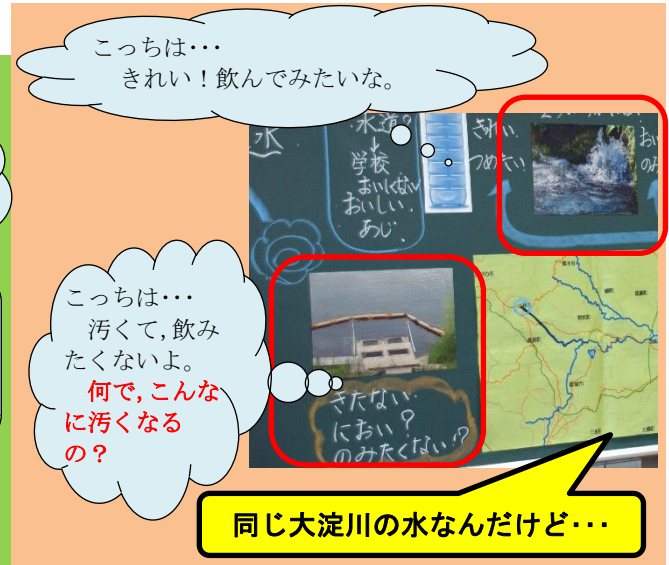
この二つの水の違いは？

色は全く同じだな。どちらも透明だ！

見た目は同じだけど…。これって何の水かな？

片方は、何か消毒のようなおいがあるよ。学校の水道の水と同じだな。

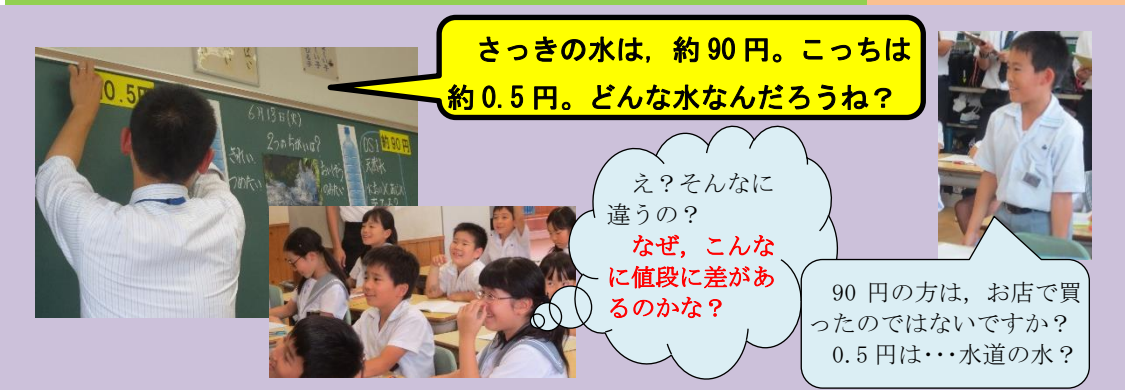
こちらは、全く味がしないな。でも、もう一つの方は少し味がしたよ。



こちらは…きれいな！飲んでみたいな。

こちらは…汚くて、飲みたくないよ。何で、こんなに汚くなるの？

同じ大淀川の水なんだけど…



さっきの水は、約90円。こちらは約0.5円。どんな水なんだろうね？

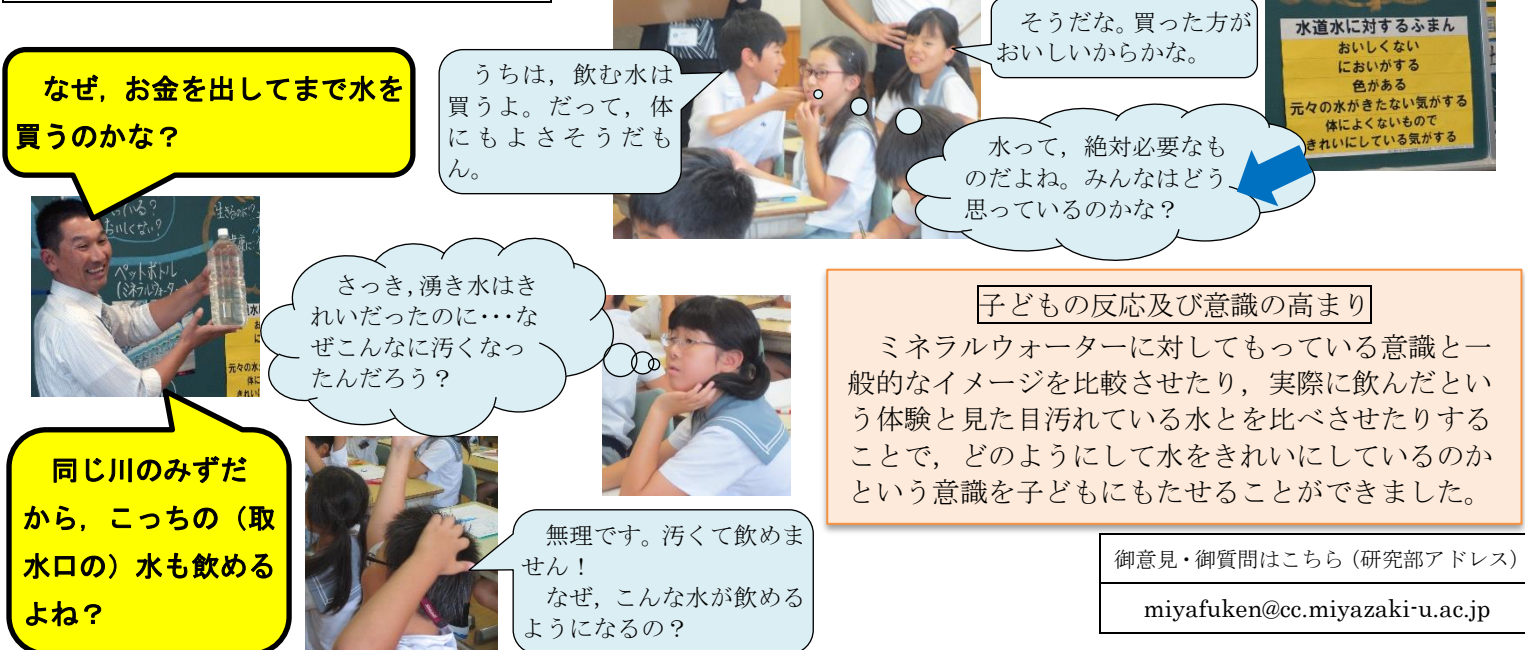
え？そんなに違うの？なぜ、こんなに値段に差があるのかな？

90円の方は、お店で買ったのではないですか？0.5円は…水道の水？

子どもの反応及び意識の高まり

資料を比べさせることで、汚れた水がきれいになって飲める水になっているという意識ときれいなはずの水が汚れているという意識の2つをもたせることができました。

多角的に考察させるための発問の工夫



なぜ、お金を出してまで水を買うのかな？

うちは、飲む水は買うよ。だって、体にもよさそうだから。

そうだな。買った方がおいしいからかな。

水って、絶対必要なものだよな。みんなはどう思っているのかな？

水道水に対するふまん
おいしくない
においがある
色がある
元々の水がきかない気がする
体によくないもので
きれいにしている気がする

さっき、湧き水はきれいだったのに…なぜこんなに汚くなったんだろう？

無理です。汚くて飲めません！なぜ、こんな水が飲めるようになるの？

同じ川のみずだから、こっちの（取水口の）水も飲めるよね？

子どもの反応及び意識の高まり

ミネラルウォーターに対しても持っている意識と一般的なイメージを比較させたり、実際に飲んだという体験と見た目汚れている水とを比べさせたりすることで、どのようにして水をきれいに行っているのかという意識を子どもにもたせることができました。

授業実践計画

○ 指導計画（13時間）：詳細については次頁に記載

- (1) 水についての疑問を基に「単元を貫くテーマ」を設定し、学習計画を立てる。—— 3時間
- ・ 水道水とミネラルウォーター …… 1（本時）
 - ・ 「単元を貫くテーマ」と学習計画 …… 2
- (2) 水の循環について調べる。—— 7時間
- (3) これまでの学習を基に「単元を貫くテーマ」について考える。—— 3時間

○ 本時の目標

普段使用している「水」に対して、調べていきたい「問い」をもつことができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 社会的事象と出会う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2つのペットボトル <ul style="list-style-type: none"> ・ 「水」の違い <ul style="list-style-type: none"> A～ ミネラルウォーター B～ 水道水 <p>①五感 ～見た目のちがいはほとんどないな。 におい・味などのちがいがああるよ。</p> <p>②水の産地～同じところの水が使われているんだな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水の産地（湧き水）のイメージ <p>2 「水」に求めるものについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 値段が違う理由について <ul style="list-style-type: none"> ・ お店で売っている「水」だからAは、値段がついているんじゃないかな？ ・ 湧き水をくんできたから、ただなんじゃないかな？それとも水道の水だからかな？ <ul style="list-style-type: none"> ○ 値段のついている「水」の正体について <ul style="list-style-type: none"> ・ ミネラルウォーターのイメージ ・ 「水」に求めるもの <p>3 Bの水の正体について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Bの水（水道水）の正体について ○ Bの水に対する「問い」について <ul style="list-style-type: none"> ・ 汚い水がどのようにしてきれいになるのかな？ ・ なんできれいな水が汚くなっているのかな？ など <p>4 本時学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水について抱いた感想 ○ 次時への意識付け 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「水」の入った2つのペットボトルを提示し、違いは何かを問い、意見を出させることで、「水」に関心をもたせるようにする。 ○ 以下に示す順番で、違いについて話し合わせることで、「水」の違いについて疑問をもつことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>① 五感 ② 水の産地</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「湧き水」の写真から、「水」に対するイメージを出させることで、「きれい」「おいしそう」「冷たい」といった言葉を引き出し、話し合いにおける価値判断をさせる際の布石とする。 ○ 「水の味はどれも同じではないのか」と問い、高いお金を支払って、水を買う理由について話し合わせることで、水に対して子どもが求めている思いや願いを引き出すことができるようにする。 ○ 「ミネラルウォーター」と「湧き水」のそれぞれのイメージを比較させ、共通点に気付かせるようにすることで、子どもが水に求めるものについてまとめるようにする。 ○ 取水口の水を提示し、大淀川の水であることを確認する。その後、「同じ川の水だからこの水も飲めるよね。」と問い、理由を話し合わせることで、「水」に対する様々な「問い」をもたせるようにする。 ○ 本時で抱いた思いを感想という形でまとめさせ、意見交流を行わせる。その際、水について抱いた疑問について出させ、価値付けていくことで社会的事象に対する見方や考え方を育むようにする。

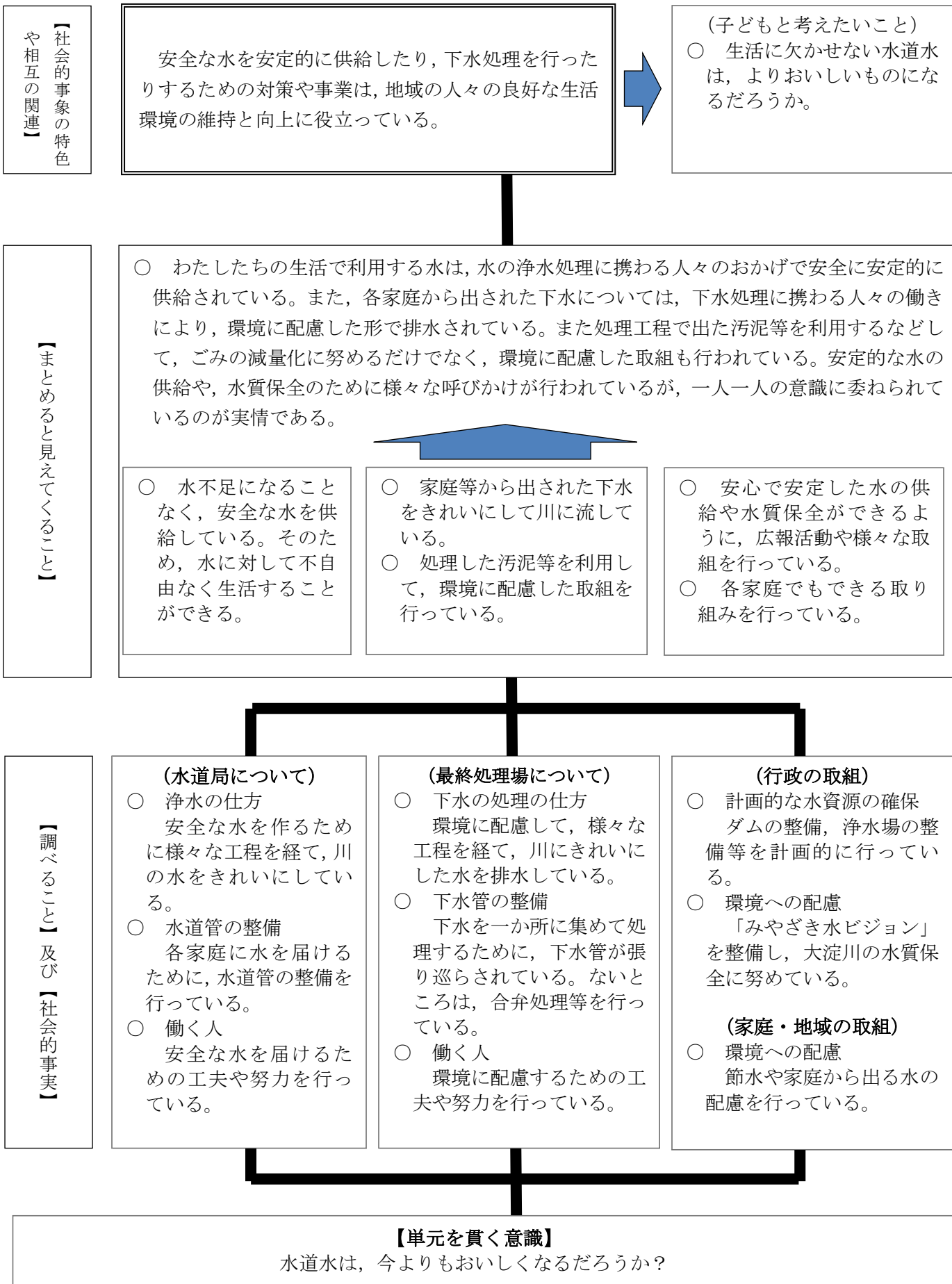
○ 学びの本質に向かっている子どもの姿

同じところの水のはずなのに、どうして汚くなってしまふのかな。でも、汚くなった水もミネラルウォーターと見た目は変わらないし、いつもたくさん飲んでるよ。どうやってきれいにしてるのかな。

【関心・意欲・態度】



○ 教材分析



○ 単元指導計画（13 時間）

段階	ねらい	○主な学習活動 ・内容 ◆追究意欲を図る手立て	□指導上の留意点 ※評価
生み出す (3)	<p>「水道水」と「ミネラルウォーター」の比較をとおして、「浄水」と「下水処理」の両方に疑問をもつことができる。</p> <p>〈第1時〉（本時）</p>	<p>二つの水の違いは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二つの水の違いについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・川の源流付近の水について ・取水口付近の水について <p>◆ 取水口付近の水をそのまま飲めるか問う。</p>	<p>□ 水道水とミネラルウォーター、湧き水と取水口付近の水の比較をとおして、水について関心をもてるようにする。</p> <p>※【関・意・態】…ノート、発言</p>
	<p>子どもの疑問を整理し、よりおいしい水を飲みたいという水に対する思いから「単元を貫く意識」をもつことができる。</p> <p>〈第2・3時〉</p>	<p>みんなの疑問を整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問いを共有し、解決すべき問題について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・汚れた水をどのようにして飲める水にしているのか ・川の水はどのようにして汚れるのだろう。 ○ 川の水が汚れる原因について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・川の水が汚れる原因について <p>【単元を貫く意識】</p> <p>水道水は、今よりもおいしくなるだろうか？</p>	<p>□ 前時の「問い」を共有し、類型化していくことで、単元計画を作成し、水処理に関心をもたせ、単元を貫く意識をもつことができるようにする。</p> <p>※【関・意・態】…ノート、発言 ※【思・判・表】…ノート、発言</p>
挑む (7)	<p>地下に張り巡らされた「管」により、良好な生活環境の維持が図られていることが分かる。</p> <p>〈第4時〉</p>	<p>→ 水はどのように届けられ、どうやって運ばれるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水道管や下水管について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・水道管はどこから ・下水管はどこへ <p>◆ どのような場所でそれぞれ処理しているのだろう。</p>	<p>□ 水道の蛇口と排水溝をもとに、どのように届けられ、運ばれていくのか資料を基に調べることができる。</p> <p>※【技能】…ノート、発言</p>
	<p>浄水処理に携わる人々の工夫や努力が分かる。</p> <p>〈第5・6時〉</p>	<p>→ 川の水はどう処理されるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 下北方浄水場の見学を行い、浄水処理に携わる人々の工夫や努力について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・浄水の仕方 ・インタビュー <p>◆ 下水を提示し、どのように処理しているか問う。</p>	<p>□ 浄水場の見学で得た情報を整理し、浄水処理にかかわっているものについて項目ごとに整理することで、安全な水を安定的に供給していることについて理解することができる。</p> <p>※【技能/知識・理解】…ノート</p>
	<p>下水処理に携わる人々の工夫や努力が分かる。</p> <p>〈第7・8時〉</p>	<p>→ 下水はどう処理されるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮崎処理場の見学を行い、下水処理に携わる方の工夫や努力について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・下水処理の仕方 ・インタビュー <p>◆ 働いている人の思いについて問う。</p>	<p>□ 処理場の見学で得た情報を整理し、下水処理にかかわっているものについて項目ごとに整理することで、下水処理の仕方について理解することができる。</p> <p>※【技能/知識・理解】…ノート</p>
	<p>水の処理に携わる人々の思いや願いが分かる。</p> <p>〈第9時〉</p>	<p>→ どのようなことを考えて働いているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水処理に携わる方の思いや願いについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な水 ・環境への配慮 	<p>□ 大淀川の水質に関する新聞記事を基に、水処理に携わる方の思いや願いについて考えることができる。</p> <p>※【思・判・表】…ノート</p>
	<p>水道水のおいしさの違いは何か考え、水が循環していることが分かる。</p> <p>〈第10時〉</p>	<p>→ 水道水のおいしさの違いは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 都城市と宮崎市の水道水のおいしさの違いについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・違いの原因は ・私たちの使用している水は？ <p>◆ 単元を貫く意識について再度、問う。</p>	<p>□ 水道水のおいしさの違いの原因について考えさせることで、水の循環について考えられるようにする。</p> <p>※【思・判・表】…ノート</p>
生かす (3)	<p>水の安定供給のためには、様々な人々の協力と、一人一人の意識の向上が必要であることが分かる。</p> <p>〈第11時〉</p>	<p>水道水は、今よりもおいしくなるだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに学習したことを生かして、安全でおいしい水を安定的に供給するために大切なことについて考える。 <p>◆ 家での取組を見つめてみようと問う。</p>	<p>□ 水道水は今よりもおいしくなるかと問い、追加の提示資料を基に考えの根拠を明確にして話し合わせることで、意識の向上が必要であることを考えられるようにする。</p> <p>※【思・判・表】…ノート</p>
	<p>家庭でできることを考える。</p> <p>〈第12・13時〉</p>	<p>水に対して私の家でできることを考え実践しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の水の使用や排水の在り方に関わる問題点を見つけ、水作戦書を作成し、実践する。 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の問題点 ・水作戦書 <p>◆ これからも水の問題に目を向けて、自分にできることをやっいていこう。</p>	<p>□ 家庭の水の使用や排水の在り方の問題を基に、水に対してできることについて考えたことを実践させることで、適切な水の使用や下水の処理、再利用に協力する意識を高めるようにする。</p> <p>※【関・意・態】…ノート、発言</p>

